

看護連盟 いばらき

第 62 号

2025 年 1 月 15 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp



鹿島神宮：関東最強クラスのパワースポット。勝負運向上や勝利祈願のご利益があるとされています。



参議院議員
石田まさひろ



目次

会長あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
参議院議員石田まさひろ活動レポート 「自民党看護問題小委員会」が開催される!!	4
2024 年度 研修会参加者の声 看護管理研修会、国会見学等研修会、青年部研修会	5
看護連盟・看護協会合同会議 関東甲信越ブロック協議会ブロック別政策セミナー 県南4支部・土浦・つくば支部合同研修会	6
施設紹介・わたしの休日	7
編集後記	8

2024年度会員数
(R6.12)

4,454名

茨城県看護連盟会長あいさつ



看護職の結束力を社会に示しましょう！ 茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から連盟活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

昨年は、新年早々に能登半島地震に見舞われる大災害により未だ復旧半ばであり人々の生活に大きな影響をもたらしており健康で安寧な日々が一日も早く訪れますことを祈願いたします。

また、10月には衆議院総選挙により、あべ俊子衆議院議員が文部科学大臣に、友納りお参議院議員は内閣府大臣政務官に就任されました。おめでとうございます。石田まさひろ参議院議員は、予算委員会理事等で活躍されています。本県の衆議院総選挙の結果は大変厳しい結果となりましたが、連盟会員、支部長役員が一丸となって応援をしていただき次期参議院選挙に大きな弾みがついたのではないのでしょうか！

2025年が、私達看護職にとって勝負の年となりますので、看護連盟と看護協会が共に協力して活動が推進できるよう皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟 会長 高原 静子

新年、明けましておめでとうございます。

皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明け早々の能登地震、そして日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。そして、多くの困難に立ち向かいながらも、地域社会や医療チームの一員として力を尽くしてこられた看護職の皆様に、深い敬意を表します。その努力と献身が、一人ひとりの命を守り、社会の健康を支える原動力となっています。これからも続く超高齢化社会において、一層の

柔軟な対応が求められます。

今年は「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

日本看護連盟は、都道府県看護連盟・看護協会、看護職国会議員の皆様とともに力を合わせ、より良い医療福祉の実現に向けて一層の努力を重ねていく所存です。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

茨城県看護連盟会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、早々に能登半島地震が発生し、災害支援ナースの皆様に参加して頂き、大変ありがとうございました。一日でも早く能登の皆様の復興が進みますよう願うばかりです。そして今年は穏やかな一年になりますよう念じております。

さて、今年は参議院選挙があります。看護界からの組織代表である石田まさひろ候補予定者を、皆様と共に応援して参りましょう。協会の看護政策を実現していくためには看護連盟の力が必要であり、「共にある」ことを他団体に見せることが重要です。「その人らしく最期まで生きる」ことへの支援は看護職の総合力をもってこそ実現できることではないのでしょうか。高齢化がますます進む今にあって、職能団体としての結束力を高め、この難題に立ち向かうために看護連盟、協会がそれぞれの役割を発揮し、協同していく姿を社会に示していきたいでしょう。

新年が皆様にとり、良い年でありますよう祈念しご挨拶とさせていただきます。

看護職議員活動報告



衆議院議員 あべ 俊子

新年あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しいご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拝命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいているお陰です。心から感謝申し上げます。

あべは、岡山県で政治家としてお育ていただきましたが、10増10減で選挙区がなくなり、今回は比例九州ブロックから当選させていただくこととなり、大変ご心配をおかけいたしました。厳しい選挙も力強くお支えくださったみなさまには、必ずや政策でご恩返しをさせていただきます。

かつてないスピードで不確実性や複雑性を増す時代、みなさまの声を聴かせていただき、人材育成のための教育は国の基（もと）と信じて、日々努力してまいります。看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。



文化功労者顕彰式にて
お祝いのご挨拶



佐賀県での第78回国民スポーツ
大会の総合開会式でご挨拶



参議院議員 石田 まさひろ

茨城県看護連盟のみなさま、日頃より温かいご支援に心より感謝申し上げます。

茨城県内の各地へご訪問させていただき、多くの皆様からお話を伺いました。現場では、看護記録の多さに対する業務負担や、診療報酬改定による病院経営への影響、多様化する患者さんに対する病棟における様々な問題等、課題が山積しています。刻々と変化する現場課題を伺うなか、人口減少時代に突入した今「量を守り、質を追求する」ための看護政策の必要性を、強く感じました。

また、様々な業種で賃上げが実現してはいるものの、物価高対策が必要です。厳しい状況に置かれている医療・介護等の現場の実情を訴え、補正予算や令和7年度予算等への反映と確実な実施を引き続き求めていきます。

新しい年を迎え、地域の医療を守り抜き、時代に即した看護政策実現のため、更なる邁進を決意し、心を新たにしています。

引き続き、国政の場で活動するため、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



大学にて講義



訪問看護サミットにてご挨拶



参議院議員 とものう りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。

弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わるお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることができることは大変嬉しいことです。政務官としての仕事は、国会議員として作り上げた政策や法律を、今度は実行する立場になります。法律に基づく制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながらより良いものとなるように取り組んでまいります。

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に！初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。



政務官記念撮影@官邸



内閣府政務官室にて



エチオピア視察①
Obaleヘルスセンター(Daghabur)

参議院議員石田まさひろ活動レポート 「自民党看護問題小委員会」が開催される!!

2024年9月10日に自民党本部にて「自民党看護問題小委員会」が、石田まさひろ副委員長兼事務局長の進行で開催されました。

大串厚生労働部会長（衆議院議員）があいさつし、能登半島地震で始まり、「多くの災害の中でも看護のみなさまにご尽力をいただきありがとうございます」と看護職に敬意を表しました。田村委員長（衆議院議員）は、病院のDX化や人員配置の変更などを取り入れながら、どのように医療機関を運営していくかを考えていく必要があると述べられました。

また、看護師は、病院だけでなく、地域包括ケアも含めて様々なところで中心的な役割を果たしていることから、看護DXを進めなければならないと話し、2040年のピークを前に工程表を作りそれを見ながらブラッシュアップして改善を図っていきたいと意欲を示しました。



友納理緒事務局次長と石田まさひろ副委員長・事務局長

3省庁からの予算説明と関連団体による22の要望

日本看護連盟・日本看護協会から3つの要望は「外来医療・看護の機能強化・看護DXの推進・看護現場の長時間労働是正および労働者の健康確保」その他の各団体から「ナース・プラクティショナーの国家資格の早期実現・看護職の夜勤実態の理解拡大と夜勤手当の増額など」の要望がありました。

課題をさらに明確にした国会議員からの質問は「特定行為が進まないことについて、日本看護協会としてどのように考えているのか」（三ツ林衆議院議員）に対し日本看護協会から「特定行為は、少しずつ拡大しているが、具体的な活動方法が不明という課題が存在していることから毎年好事例を共有する場を設け、実践的な知識の普及を図っている。修了者を増やすためには研修期間の増加が必要であり、そのための説明会やプログラム検討会議を開催している。」との回答があった。

他分野で働く看護職について、「まったく看護と関係ないような仕事についている人がどのくらいいるのか？調査すべきだ。」（古川参議院議員）との質問に対し、厚生労働省から「潜在看護に対する復職支援をナースセンターや都道府県と連携して進めているが、離職期間が長く復職に自信がない人が多い状況で、都道府県看護協会で復職支援の研修などを実施している。他分野で働く看護職が何割いるかという調査は、実施できていないので聞き取りなどできる範囲で把握していきたい。課題解決にもっとスピード感を!!

終わりに田村委員長は、特定行為は、一向に進んでおらず、医療現場が機能しなくなってきていると指摘。病院における特定行為のニーズや実施を希望する看護師の数の把握、適切な人材育成と病院体制の整備も求められているとし、その際診療報酬での対応や処遇改善が課題になっていると言及しました。

対応としてガイドラインを出すなど計画的な策定が必要。2040年に向けて医療DXを進めるためにも厚生労働省全体でのスピード感を持った取り組みを求めました。

更に看護師不足については「潜在看護師の復職支援の強化、急な退職があった際に職員を用意できるというソリューションを示さないと進まない。病院が回らなくなる日は近づいており、スピード感を上げていただくよう省を上げてお願いしたい」と述べました。

最後に石田まさひろ副委員長は、「各団体から出された要望に基づく課題解決のスピード感が極めて遅い」と指摘し、「現実的に医療の現場が持たなくなってきている。2024年度予算をきっかけに進んでいく道筋をしっかりとつけていきたい。」と協力を求め閉会しました。



2024年度 研修会参加者の声

看護管理研修

日時：2024年8月24日（土）13：30～16：00

場所：茨城県トラック協会

内容：「DXの進展により看護はどう変わるか」～看護職の貢献による人間中心の社会に向けて～

講師：東京医療保健大学 保健医療学部医療情報学科教授 瀬戸 僚馬 先生



美浦中央病院 武田 弘行

8月に瀬戸僚馬先生の「DXの進展により看護はどう変わるか」の研修に参加しました。看護分野でのDXは、まだまだ黎明期で看護師の眼と手をどこまで危機に手伝ってもらえるかが課題であり、DXを通じて対象者に寄り添う時間を生み出し、看護職の強みを一層活かせる社会を実現したいということ学びました。

当院でも現状は人材不足の中で記録に多くの時間を費やしている状況があります。

看護は機械ではなく人の手ではないとできないという思いがあり、その中でもDXを取り入れ看護ケアの時間を増やすことができれば、より良い看護が実現できるのではないかと思います。

これからの看護のDX化に向けて、更に知識を深め準備をしていきたいと思います。



国会見学

日時：2024年11月13日（水）10：15～15：00



JA 茨城県厚生連 看護統括管理部 山本 順子

11月13日（水）初めての国会見学研修会に参加しました。

快晴に恵まれうっすらと汗をかきながら集合場所から衆議院会館へ、そして議場を見学。

この日は、翌日に控えた国会開会式のため衆議院議会は閉会されていましたが、運よく天皇陛下をお迎えするための特別な赤絨毯を見ることができました。

また、茨城県選出の国会（自民党）議員の方々から挨拶があり、それぞれが医療・看護の分野にも尽力してくださっていることがわかりました。

看護師を代表する石田議員、友納議員の執務室、文部科学大臣になられた阿部として大臣の執務室を訪問し、意見交換など連盟研修ならではの、貴重な経験をすることができました。



ポリナビワークショップin いばらき

日時：2024年10月5日（土）13：30～16：00

場所：茨城県トラック協会

演題：「未来の看護について」～そもそもDXって何だろう～

講師：日本看護連盟幹事 岡山 亮憲 先生



北茨城市民病院 河内 弥美

少子化が進み、人口の減少、働き手の減少が今後も進んで行く社会のなかで、人員の確保が難しくなりつつあります。講演を聴講し、医療・看護DXにおいては、記録業務の負担削減の為に音声入力デバイスや外来受診のスマート化につながるアプリなどが紹介されました。DXを活用しながら人員不足を補い、看護の提供をしていく時代が目の前に迫っていると感じました。また、グループワークにおいては、自施設で現在困っている事と、どのようなDXがあるとよいかなどの意見交換を行いました。実際にDXを取り入れている施設もあり、取り入れるメリット、デメリットの情報交換ができ、有意義な時間となりました。ありがとうございました。



2024年度 看護連盟・看護協会合同会議報告

日時：2024年10月10日（木） 9：00～12：00

場所：ザ・マークグランドホテル



幹事長 岸 洋子

10月10日に埼玉県さいたま市に於いて、関東甲信越ブロックの看護連盟、看護協会合同会議が開催されました。参加者は日本看護連盟役員3名、日本看護協会役員12名、各都県看護連盟会長・副会長又は幹事長20名、看護協会会長・オブザーバー20名でした。会議の目的は「1）政治活動への理解を深め、選挙運動時の協力態勢を強化する2）「応援する会」の入会促進を効果的に推進できる3）政治活動と選挙運動の区分を理解し、コンプライアンス対策を徹底する」です。会議では「1） 応援する会の入会状況と今後の戦略について2）コンプライアンス対策の理解と徹底」について報告がありました。その後6グループに分かれ各県の活動内容や課題等を共有しました。後援会入会が少ないことが課題となっており、強化しなければならないこととして「看護協会・看護連盟の会員を減らさない、次期参議院議員候補者の知名度を上げる、親会員の役割を伝える」ことなど具体的な取り組みについて検討しました。

関東甲信越ブロック協議会ブロック別政策セミナー

日時：2024年11月7日（木）・8日（金） 13：30～16：00

場所：長野県

第一副会長
芳賀 百合子

長野県長野市において、『日本看護連盟の組織強化・拡大に向けて、連盟活動の推進を高める』を目的とする関東甲信越ブロック別政策セミナーが開催され、日本看護連盟会長・役員、関東甲信越ブロック各看護連盟役員と看護協会役員、看護管理者、看護教育者など約100名が参加しました。「看護職国会議員3氏のビデオメッセージ」、「日本看護協会の重点政策と重点事業」、「心を動かす効果的なプレゼンとは」、「看護連盟の活動を周知し組織強化につながる取り組みの共有」聴講後に、各都県混在の13グループで討議しました。其々の組織の現状や取り組みを共有し、対策案を検討・発表しました。次世代の若者が看護政策の成果・効果に興味を持ち理解できる情報発信とアプローチを展開し、投票行動まで繋げることが私達の役割であると再認識しました。皆さまのご協力をお願いいたします。

青年部副委員長
広瀬 礼美

2024年11月7日～8日の2日間、長野県で2024年度関東甲信越ブロック別政策セミナーが開催された。1日目は、各県のPRや活動紹介を聞き、県の垣根を越えて親睦を深め、楽しい時間を過ごした。2日目は、日本看護連盟の高原会長挨拶から始まり、国会議員のあべ俊子先生、友納りお先生のビデオメッセージ、石田まさひろ先生の動画講演、日本看護協会について、プレゼンについて講演をして頂いた。講演を聞いた上で「『看護の未来』をどう語り、どう伝えていくのか～私たちにできること」をテーマとして意見交換を行った。少子化の中で今後どのように会員や看護師を確保していくのか、アプローチ方法を変えていかなければいけない等、色々考えさせられた時間であった。今回のセミナーで学んだことを今後の活動に活かしていきたい。

水戸協同病院 看護部長
山本 祐美子

2024年11月7日～8日の2日間、関東甲信越看護連盟管理者等政策セミナーに参加いたしました。「看護の未来。求められる看護政策とは」と題して参議院議員石田まさひろ先生の講演があり、その後グループに分かれて「『看護の未来』どう語り、どう伝えていくか～私たちにできること」のテーマに沿って話し合いました。講演やグループワークを通して、連盟の活動を周知し組織強化に繋がる取り組みなど、他県連の方と様々な意見交換ができ、多くの学びを得ることができました。この2日間の学びを活かし、看護の未来をしっかりと語れるよう、頑張っていきたいと思います。



県南4支部・土浦・つくば支部合同研修会

日時：2024年10月4日（金） 17：00～

場所：オンライン



県南第4支部長 縮 夏美

10月4日、県南4支部と土浦・つくば支部で、日本看護連盟幹事の岡山亮憲先生を招いて合同研修会を開催致しました。今年度も県南第1支部長を中心に6支部が連携し、看護連盟の活動を多くの会員・非会員に知って頂く機会となり、会員・非会員含めて186名の参加となりました。看護の現場は、「子育ての悩み、残業が多い、人間関係など」の看護職の悩みがつきません。看護連盟の活動が看護職の処遇改善や職場環境の改善につながることを再認識することができた研修でした。

看護職がやりがいをもって、キラキラする笑顔で働くことができる、看護の未来をつくることを目指して、看護連盟の活動を多くの看護職に届けていけるように活動していきたいと思います。

施設紹介

あおぞらデイサービス日立



有限会社ファイブアローズ あおぞらデイサービス日立
取締役 看護師 岩下 由加里

私の職場は、茨城大学のすぐ近く日立市の中成沢のあおぞらデイサービス日立です。サービス付き高齢者向け住宅(サ高住) あおぞらニュータウン日立館に併設されているデイサービスです。

生活を整えることで少しでもお元氣になっていただけるよう「あおぞら元氣ケア20ヶ条」を元に介護サービスを提供しています。重度の方の受け入れも行い、併設のサ高住では看取り率95%以上を目標としております。2025年からは訪問看護事業所を開設して、さらに医療に強い施設にしていく予定です。

私は仕組み経営コーチでもあるので「仕組み経営」を導入して人に依存せず、仕組みを大切にしたい運営をしています。



結城病院



看護主任 栗野 みどり

「結城病院って、お城みたいな所だね」をよく言われます。そんな当院は、シャトースタイルの外観をもつ本館と後方に英国式の自然庭園があり、患者様や地域住人からも素敵だと講評です。利用する患者様の治療に対する不安を少しでも緩和する目的から邸宅風の施設にし、自然な庭を見ながらリハビリができる事は、魅力の一つだと思っています。また、結城病院は「介護老人保健施設あんしん」や「訪問看護ステーション 春風」「特別養護老人ホームただ」などを運営しています。今後も、地域住民に信頼され患者様が安心していただける医療と看護を目指しています。



わたしの休日

総合守谷第一病院



佐賀 さおり

私の休日はやりたいことが沢山あります。掃除洗濯はもちろん、野菜の収穫、父の通院送迎、自分磨きや女子会。まだまだあって予定がギッシリ、分刻みで車を走らせることもしばしばあります。

最近まで私にとっての1番は、息子のハンドボールの応援でした。夫や娘たちと大きな声を出して応援するのは、心も身体もすごくリフレッシュできました。

引退後の今は、受験に立ち向かう息子を見守る日々。進学したらあの勇姿をまた見せてくれると思っています!! 応援するのが楽しみ!!

子供も成長し手が掛からなくなったので、3か月に1回のペースで学生時代の友人と大人時間を満喫しています。お酒を片手に懐かしい思い出や仕事、家庭の話を時間の許す範囲で語っています。



茨城西南医療センター病院



看護師 高橋 諒

私の趣味は旅行です。行ったことのない土地を訪れ、見たことのない景色や経験したことがないことを経験することができ、旅行が好きになりました。旅行には友人と行くことが多いですが、時には1人で旅をすることもあります。1人旅も現地の方とコミュニケーションをとることができおすすめです。

私は普段、計画を立てて行動をすることを意識していますが、旅行においては計画を立てずに着いてから、現地の方におすすめを聞いたりして行くところを決めています。無計画だからこそ起きるパニングも醍醐味の1つです。

まだ海外は行ったことがなく今後は海外旅行にもチャレンジしていきたいです。



研 修 会 案 内

会員研修会

日 時：2025年1月25日(土) 13:30～15:30 場 所：茨城県トラック協会
 内 容：前衆議院議員高階恵美子先生招聘研修会「国政におけるこれまでの活動と看護政策のこれから」
 講 師：前衆議院議員 高階 恵美子 先生

会員及び賛助会員研修会

日 時：2025年2月1日(土) 13:30～16:00 場 所：ホテルレイクビュー水戸
 内 容：「健やか寄席」～笑うあなたに福来たる～
 講 師：古今亭 文菊 師匠 神田 山緑 先生

2025年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター



レンコ

カンタ

みんな集まれ！楽しいよ！！

- | | |
|--------------|---|
| 正 会 員 | 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・看護協会会員であること。 |
| 特別会員 | 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。 |
| 賛助会員 | 年会費 1,000 円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。 |
| 学生会員 | 年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。 |

皆さまのご入会を
お待ちしております。

お問合せ 茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。 <https://ibaraki-kangorenmei.jp/>
 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp

茨城県看護連盟 ホームページ紹介

随時
更新中!

<https://ibaraki-kangorenmei.jp/>



LINE 登録してね



看護師の“知りたい”
をつなぐ看護職議員の
活躍がよく分かりますよ！

日本看護連盟

不要な羽毛ふとんはありませんか？ 東洋羽毛が無料でお引取りします。

東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、
SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▶

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project



東洋羽毛北関東販売株式会社
310-0842 茨城県水戸市けやき台2-19-2

茨城営業所



0120-46-1590

編 集 後 記

あけましておめでとうございます。日々多忙な業務の中看護連盟の活動にご参加いただきありがとうございます。今年は参議院選挙の年であり、看護の声を政界に届け、明るい未来の実現に向かって石田まさひろ参議院議員を必ず国政に送るため共に頑張っていきましょう。
 (広報委員)